



つながり

奏家として～

4月卓話「ヨーロッパでの経験～演奏家として～」

オペラ歌手 豊嶋喜久子さん

まず、「豊嶋」と書いて「てしま」と九州では聞かぬ読み方、ヨーロッパのあのすさまじい偏見の中での演奏経験! タイトルだけで心を奪われてしまうのに、導入は“海外のお菓子!!” 最初から驚掴みにされました。

音楽の基礎が祖父の能楽と謡の教えであったのは、父親が50歳で亡くなったからと言われましたが、その父がバチカンでローマ法王に能を献上し、オーストラリアのオペラハウスで能を舞ったりとグローバルな人でした。豊嶋さん自身はハンガリー国立ブタペスト歌劇場からベルリン、ミュンヘン、ウィーンと中央ヨーロッパ・東欧圏で活躍されています。きっかけはブタペストで、審査委員長を務めていたルードビッヒ女史に声をかけて頂けたこと...しかしよくある

ことではありません。さらに日本人歌手は《蝶々夫人》を歌える声質でなければまず話はきません。結構な狭き門なのです。豊嶋さんがチェコ・ポーランド・スロベニア・スロバキア・セルビアで主役客演を務められたのは、ひとえにご本人に力があつたからです。

舞台上で汗をかくと、締め付けられ重く、息ができなくなる綿の衣装に懲りて、着物を持参する話や、各々付けてくれるメイクアップアーティストが、キャンバス代わりに濃いメイクをしてくれたことなど、フムフム...へえ...と感心したり、さもありません。

現在は広島市伝承者認定を受け、次世代に戦争と原爆について語ることを使命とし、北九州市でも平和講座を行っておられます。歌を望まれるなら歌からも平和のメッセージを伝えたいと思っている、と締めくくられました。

しかし、なにより私のところに染みしたのはルードビッヒ女史が彼女に贈った「自分の引き際は自分で決めなさい、劇場に厳しい判断を下される前に自分がすべきです」の言葉でした。(植田)

4月例会報告

例会出席者は24人で、いつもより少なめ、会員の動向では山下博会員が入院、手術したため、会から見舞金を出すことを、住会員も6月に手術予定で、仕事との両立が難しくなると4月末での退会届が出されたことなどが報告された。中山会員指導でストレッチ体操が行われたが、これまでより少しレベルアップ、より運動効果が出るように工夫していた。

卓話はオペラ歌手の豊嶋喜久子さんが「ヨーロッパでの経験～演奏家として」の題目で講演、スライドを使い、これまでの公演紹介や海外での恩師や友人紹介など多彩な経歴を披露、食事中も同席の植田会長とオペラ談義に花を咲かせ、共通の話題でおしゃべりされて楽しそうだった。ショートスピーチは古賀靖子副会長、大学4年の時は山岳部で白馬山縦走をしたこと、53歳でガンが見つかり、5年生存は難しいと言われが、退院後に積極的に健康法と取り組み、無事88歳を迎えたことを紹介した。2か月続けたトルコ地震募金は集まりが悪く、今月まで継続、協力を呼び掛けた。

また、開会に先立ち、第16期の役員選考委員の選出が行われ、委員会毎に投票した。その結果、役員会から古賀靖子、例会委員会から中山正英、交流委員会から伊熊克実、広報委員会から眞鍋雄一の各氏が選ばれ、例会終了後、初会合を開いた。(安高)



花と私

No.74 藤原智子

10年ほど前まで私は小倉南区の実家で20年間母と暮らしていた。庭が広がったので、この庭をイングリッシュガーデン風にしようと思い立った。毎週NHKの“趣味の園芸”を視聴し、毎月“趣味の園芸”を購読して花を植え、庭の手入れをした。20年の間に、四季折々に花が咲き、美しい庭になっていった。10年前に母が99歳で亡くなり、実家を兄が相続したので、私は今の住所へ移った。狭いベランダでガーデニングを楽しんでいる。最初はなかなか気候に慣れず、花が育たなかったが、最近は安定してきている。少し前までは、フリージャー、チューリップ、キンギョソウ、ビオラ、ペチュニア、ムスカリなどの花が咲き、美しさを競っていた。5月に入ったら朝顔を植え、球根類を掘り上げて何か夏の花を植えよう。

時々散歩の折に、雑草を摘んで小さな花瓶に生けて、写真を撮る。間近で見ると本当に美しく、季節を感じさせてくれる。花は私にとってなくてはならない家族のような存在である。

☆交流委員会

4月11日 14名出席

湖月堂で17時30分から役員選考スケジュールに添い、選出方法の説明を行い、具体的な選出要綱についての質疑応答に時間を費やした。今後の北九州プロバスクラブを引っ張っていく大事な選考であるので、真剣に取り組んで頂きたいとの所見を述べさせてもらった。

また、来る5月31日の白野江植物公園・部崎灯台ハイキングに関して、細部に調整を行った。役員会の承認及び例会にてスケジュールを配布する。1年の中で1番花の美しい時期、多数の参加を願うとともに、外部にアピールする絶好の機会である。(近藤哲生)

☆例会委員会

5月2日 12名出席

小倉リーセントホテルにて午後5時30分から開催した。主要議題である卓話の件を協議確認して、当委員会の最後の未定である9月の卓話の内容及び候補者の検討をした。ショートスピーチと例会受付の確認の後、暑気払いのプログラムやアトラクションの協議をした。色々なアイデアも出て6月の例会委員会の継続協議とした。

今回の小倉リーセントホテルは飲食を先にしながらの会議であったが、各委員の意見も滑らかに出てよりスムーズであった。(大石)

☆広報委員会

5月1日 5名出席

12時30分からホテルテトラ北九州で開催。大型連休のため第1金曜の定例日を前倒して実施したが、副委員長が所用のため欠席となった。いつものように昼食後、「つながり6月号」の編集会議を行い、各々の原稿・写真担当を決定した。年報「Link24号」にも取り組む時期ではあるが、役員改選年でもあるので、来月に内容を討議することとした。

また、メリハリのある紙面作りについても意見が出され、「ミニ随筆」を「随想」とする等の提案があり、これも検討を進めて行きたいと考えている。(内藤)



私の健康

No.70 古賀靖子



昭和10年生まれで87歳になります。子どもの頃は戦時中で生きることが精一杯の記憶しかありません。中学校からは勉強より体育や運動に重きを置きバレーボールやソフトボールを、大学では山岳部に入り白馬岳縦走等山を愛する女性でした。この時期が一番多くの友だちと出会い、今でもお付き合いが続いています。

大学卒業後は管理栄養士の資格を得て、北九州市結核療養所に15年間務め、その後市の病院局、保健福祉局に勤務。定年退職後は西南大学で72歳まで勤め、その後も専門学校で82歳まで勤務しました。この間働く女性として結婚、出産、育児、家事とこなし元気でしたが、40歳の頃無理がたたって高血圧症に、53歳で結腸癌となり、辛い時期でしたが、その後元気を取り戻していました。しかし、今年1月左足膝関節症と診断されました。骨粗しょう症ではと精密検査をしましたが骨量、筋肉量とも問題はありませんでしたが、このまま推移すると人工関節置換手術が必要とのことでした。先行きは不透明ですが、最先端医療を信じて何事にも挑戦していく決意ですと話されました。

何事にも信念をもって頑張る人、まさに”女傑”です。まずは90歳、そして人生100歳に向けて挑戦する古賀さん！頭が下がります。（眞鍋）

♪ 歌をうたう会 ♪

4月28日15時～西小倉市民センターに6名集合。まずは身体を動かして、声が出るようにする体操から。手首を動かし背筋を伸ばして声を目覚めさせる工夫が大切だと感じた。

3月から始めた難曲「涙そうそう」は、ソプラノ、アルト1名づつ欠席のため不安で心細く、楽譜を目で追いながら汗ばむほどに……。続いて「われは海の子」これは馴染みの曲ですが、作詞者不明、作曲者は平成元年にやっと判明し、なんと7番まで歌詞があり言葉も難しく、軍艦まで出てきます！驚きと発見の文部省唱歌の奥深さを知った練習でした。（内藤）

🍷 食美会 🍷

5月3日12時30分から、何度か利用している日本創作料理の「凧」に集合です。

ゴールデンウィークにもかかわらず、1人欠席の8人の参加で始まりです。手の込んだ前菜に始まり、目新しい料理が美しく盛りだくさんから次に出てきます。そのうえ器も素敵なものが使われていて、見た目も嬉しくてため息が出そうでした。もちろん上品な出し汁のきいた料理は絶品で、皆感動してどれも美味しく完食しました。アルコールもちょっぴり入りお喋りも大いに弾み、大満足で散会しました。（柴村）

📖 歴史文学講座 📖

4月25日、松本清張記念館で開催した。今日から講師は火野葦平資料の会の坂口博会長に交代、若松の芥川賞作家火野葦平にまつわる話を7回シリーズで聞くこととなった。今回は火野葦平の長編小説「花と龍」のモデルとなった葦平の父・玉井金五郎と母・マンの男3人、女6人の系譜から、アフガンの砂漠を緑地に変えながら暗殺された中村哲医師の誕生物語を聞いた。坂口講師は「中村哲医師は祖父の玉井金五郎にそっくりだった」と結んだ。この日の参加者は10人（うち5人は非会員）だった。次回は5月23日で、テーマは川筋気質。（松本）

4月のお誕生 おめでとうございます！（敬称略）

伊熊 克実（1日）
京谷 隆（4日）欠席
大川 力（4日）
植田佐世子（29日）



写友会

会員各位の作品展示は、いつものように各員の個性を含め、夫々の表現映写です。

季節も春から夏へと移行していきます。これからも写真を通じて風光をお届けして行きます。（大川）



写真は大川会員作スケッチ {足立山}

ありがとう BOX メッセージ 4月分 （五十音順、敬称略）

★感謝バースディ有難うございました。（伊熊）★（植田）★4月例会に出席出来てありがとうございます。（遠藤）★春爛漫。大いに楽しみましょう（大石）★桜ふぶきから、新緑と光の季節。（大川）★役員選考の時期が来ました。慎重に。（古賀靖子）★新緑若葉の候、皆様いつまでもお元気で（近藤哲生）★「継続は力なり」ストレッチ頑張らなくては（近藤弘子）★急に暑くなったり寒くなったり、気候の変化の激しいこと。皆様体調管理に気をつけて。（住吉）★健康第一（中山）★新緑の季節 若葉が美しいです！（橋本）★最近おとろえがひどく、そろそろだめみたいですよ（洞）★感謝（松永）★（松本）★（眞鍋）★（安高）★桜散り新緑になりました（吉田信雄）

収支報告	3月末残高	137,762 円
	4月分収入(例会)	7,720 円
	4月末残高	145,482 円

